

2019年度（令和元年度）

事業報告書

特定非営利活動法人 トラ・ゾウ保護基金

1 事業の成果

健全な野生の世界の象徴であるトラ、ゾウ及びイリオモテヤマネコが、人為的な脅威によって危機にさらされている「生息地における野生生物保護活動」、人が野生の生きものとの共存に向かって行動するために生息地外で実施する「野生生物保護に関する教育・普及」、人と野生の生きものとの共存を公共政策の要とするための「野生生物保護に関する政策提言」を行うことができました。

また、それらの活動成果を、会報（年次報告書、通信）、ホームページ、SNS等を通じて、会員、寄付者に報告するとともに、一般の人々に普及しました。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【21,400】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
生息地における野生生物保全活動事業	インドのトラ及びゾウ、西表島のイリオモテヤマネコの生息地保護に必要な調査、密猟や交通事故防止のためのパトロール等の支援、生息地周辺の地域住民への教育普及等を行った。	通年	インド(マハラシュトラ州、ケララ州) 日本(西表島)	3人	生息地内及びその周辺に暮らす地域住民、現場で活動する行政機関のレンジャー等	地域住民6,000人 レンジャー等100人、	14,537
生息地外における野生生物保全に関する教育・普及事業	イリオモテヤマネコの生息地保護野生生物製品の消費見直しなど生物多様性保全の普及啓発(オンラインイベント、情報発信)を行った。	オンラインイベント: 2020年7月18日 情報発信: 通年	全国	5人	オンラインイベント参加者、HP、SNS閲覧者	オンラインイベント参加者:25人 HP、SNS閲覧等延べ105万人	2,244.5
野生生物保全に関する政策提言事業	象牙市場の閉鎖、イリオモテヤマネコに対する観光利用の影響抑止等野生生物保全のための調査報告書の作成、関係機関に対する意見書提出、意見陳述等を行った。	報告書・意見書・要望書 年6通	世界各国 東京 沖縄	5人	報告書等提出先の関係機関及びHP、SNS閲覧者	関係機関延べ200機関、 HP、SNS閲覧延べ1,000人	3,811
チャリティー・イベントの開催事業	イリオモテヤマネコの生息地保護野生生物製品の消費見直しなど生物多様性保全の普及啓発(オンラインイベント、情報発信)を行った。	2020年7月18日	東京	5人	オンラインイベント参加者、HP、SNS閲覧者	オンラインイベント参加者:25名、 HP、SNS閲覧等延べ105万人	0
会報発行事業	年次報告書・通信の発行、ホームページ、SNSの運営を行った。	年5通(通信等) 通年 (HP、SNS)	全国	5人	会報閲覧者、HP、SNS閲覧者	発行2,900部(通信等5通)、HP、SNS閲覧当延べ105万人	807.5